

出演者プロフィール

AUN J CLASSIC ORCHESTRA アン ジェイ クラシック・オーケストラ

「和楽器を、もっとわかりやすく、かっこよく、シンプルに！」をコンセプトに和太鼓・三味線・箏・尺八・篠笛・鳴り物…と、通常一緒に演奏されることのない和楽器を再編成し、独自の音楽性を追究する2008年結成された和楽器のみのユニット。各楽器の第一線で活躍する邦楽家8人が集結し、一級の古典技術と新世代の感性を兼ね備えた、聞きやすく誰にでも楽しめる楽曲は、他の和楽器グループにはない独自の世界観を作り上げている。『音楽には、国境はないが国籍はある』伝統と革新を高いレベルで両立させたクオリティとパフォーマンス性は、海外においても高い評価を得ており、世界初のフランス・モン＝サン・ミッシェル内でのライブ演奏を皮切りに、世界遺産を舞台としたライブツアーや毎年開催。2013年「ONE ASIA」をテーマに、アンコールワットにてASEAN4カ国の民族楽器アーティストとのジョイントコンサートを開催、昨年2016年末には規模を拡大し、ASEAN10ヶ国とのアーティストとともに「ONE ASIA」を成功させた。

AUN

井上良平（千葉魂“和”総合演出・和太鼓・三味線）／左
井上公平（和太鼓・三味線・篠笛）／右



18歳で鬼太鼓座に参加、数年後には、全米一周1万5千kmという距離を3年かけてマラソン走破し300回以上のステージをなす中、4回目のニューヨークカーネギーホール公演を成功させる。2000年、新しい表現を求め、双子ユニット「AUN」を結成。日本の伝統を和楽器を通じて世界に発信し続けている平成23年度文化庁文化交流大使に任命された。これまで、世界40カ国、国内外で1300回を超える公演を行っている。

石垣秀基（尺八）



人間国宝・山本邦山に師事。尺八では、都山流の師範である。山号二代石垣征山。第16回くまもと全国邦楽コンクールにて最優秀賞・文部科学大臣奨励賞受賞。尾上秀樹と共に「HIDE+HIDE」としても活躍。

山田路子（篠笛）



千葉県出身。能楽師一増流笛方・一増幸弘氏に師事。邦楽古典の世界を学びながら、ジャンルにとらわれない独自の演奏活動を展開。作曲や篠笛指導にも力を入れている。笛と和太鼓のユニット「打花打火」に参加。

市川慎（箏）



秋田県生田流箏曲「清絃会」三代目家元足達清賀の息子として生まれ、第7回長谷検査記念全国邦楽コンクール最優秀賞、文部科学大臣奨励賞を受賞するなど、若手演奏家中でも注目すべき存在。

山野安珠美（箏）



山口県出身。ロシア「エルミタージュ日露国際音楽祭」にてオーケストラと共に演奏。欧州・アジア・中南米ツアーなど、海外公演多数。国内では、ソロリサイタルや洋楽器等、ジャンルの異なる演奏家と共に演奏するなど、幅広い演奏活動を展開。

尾上秀樹（中棹三味線）



藤本流・準師範。2006年に石垣秀基とともにユニット「HIDE+HIDE」を結成。2010年にロシアで開催された「第1回テレムクロスオーバー国際音楽コンクール」で第一位、特別賞を受賞。

秀ーHIDEー（鳴物師）



生まれ育った江戸っ子気質を活かした、唄って・踊って・打てる現代の鳴り物師。1987年に和太鼓グループ「鼓童」に参加。独立後は「秀-HIDE-」としてソロ活動を開始。特にチャップバの演奏法で高評価を得ている。

藝〇座 （ゲイマルザ）

1993年、五世花柳芳次郎(現・四世花柳壽輔)の長年の文化庁への働きかけにより、東京藝術大学に初めて日本舞踊科(音楽学部邦楽科・日本舞踊専攻)が設立された。その卒業生が日本舞踊を幅広い世代に広げ、今までにないエンターテイメント性あふれる舞台を創る事を目指して、2006年に『藝〇座』が誕生した。日本舞踊のイメージというと『敷居が高い』『古臭い』『よくわからない』…でも実は、楽しくて、面白くて、美しくて、魅力いっぱいの日本舞踊。その事を幅広い年齢層に伝えたい!そして、お客様と私たちが一つの輪のようにまるくなりたい! そんな想いを込めて『藝〇座』と名付けられた。以来、毎年行われる藝〇座公演を始め、日本舞踊レクチャー公演、メキシコ、ニューヨークでの海外公演など、年々日本舞踊『藝〇座』の活躍の場は広がっている。



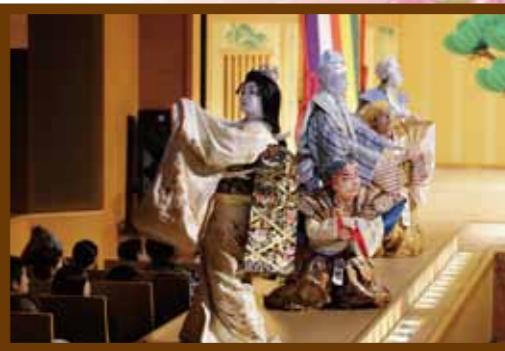
藤蔭静寿

千葉市出身の舞踊家。幼少期より母ひさ女に舞踊を習い、その後、三世藤蔭静枝に師事。第5回千葉市芸術文化新人賞を受賞財団法人日本舞踊協会会員、創作舞踊劇場会員、NHK和楽団所属。



藤間直三

6歳の頃より故藤間秀三に師事、2014年より藤間秀之助に師事。藤間流師範。2012年第69回東京新聞主催全国舞踊コンクール邦舞第1部1位受賞各流派合同新春舞踊大会 大会賞受賞



2014年藝〇座公演
「オズの魔法使い」より

友情出演



藤高理恵子（琵琶・語りべ）

筑前琵琶を田原順子氏に師事。古典弾き語りや現代邦楽の演奏活動を行うと共に、現代語による作品の創作にも力を注いでいる。第5回東京邦楽コンクール日本現代音楽協会賞受賞。日本音楽集団団員。

千葉魂(Chiba Soul)=市民参加公演 として新たにスタートします!

2013年3月、美浜文化ホール開館5周年記念として産声をあげた『美浜青春グラフィティ千葉魂』。その後シリーズ化し、美浜文化ホール春の風物詩として毎年上演を続けてまいりました。

千葉魂Ⅰ(2013年)…テーマ「千葉の魅力再発見！」

千葉魂Ⅱ(2014年)…テーマ「伊能忠敬…旅立ち・冒険・地図」

千葉魂Ⅲ(2015年)…テーマ「花」

千葉魂Ⅳ(2016年)…テーマ「海」

そして今年、千葉魂は「千葉の魅力を発信」する事業から「日本の魅力を発信する事業」として新たなスタートを切ります!市民参加者たちの活躍をご期待ください!

